

防災訓練カリキュラム

- * 開催挨拶 (訓練の準備・趣旨説明) (05分)
- * グループ分け (訓練は6~7人を1グループとする) (05分)
- * グループ活動個人紹介と挨拶 (省略する場合があります) (05分)
- * 新聞紙・チラシなどでの折り紙
 - ・新聞紙によるスリッパ作り (新聞紙見開き1枚を利用した折り紙) (20分)
 - ・チラシによる箱とか皿作り (10分)
- * 買い物袋 (レジ袋) の応用
 - ・バケツの代用 (ダンボール箱などを利用) ➡ レジ袋とダンボールを利用した容器作成 (10分)
 - ・腕吊り (骨折の時の腕吊り) ➡ 三角布の代用 (10分)
 - ・トイレ (レジ袋とダンボールかバケツ・ペール缶を利用した排泄物容器の作成) (10分)
 - ・感染防止 (傷などをカバーする) (10分)
- * ゴミ袋で防寒着・雨合羽作り (45ℓのゴミ袋・ハサミが必要) (20分)
 - ・ポンチョ・頭巾・スカート
- * 三角テント (トライアングルテント) ➡ 生活空間の確保 (30分)
 - ・ブルーシート [3.6m(2間)×5.4m(3間)]、ペグ5本、棒 (太さ3cm長さ2.5m位)、紐 (6m×1本、1m×4本)、【体育館など屋内に建てる場合は他にアンカー用にダンボール5cm×10cm4~5枚を重ねたもの5個 (板あるいは棒でもOK) 養生テープ、ペットボトルのキャップ3~5個]
- * 簡易照明 (オイルランプ) (20分)
 - ・食用油、ティッシュペーパー1枚、アルミ箔、耐熱用のガラス瓶 (ジャムとかノリの佃煮用など)、つまようじ、ハサミ
- * 紐の結び方 (ロープワーク) (30分)
 - ・本結び、巻き結び、もやい結び、張り結、新聞ダンボールの縛り方など
- * 避難及び避難所運営の図上訓練 (以下2~3時間)
 - ・DIG ➡ 避難経路等の机上訓練
 - ・HUG ➡ 避難所運営に関する机上訓練
- * 広域避難場所・避難場所・避難所の話 (以下30分~60分)
- * 避難準備情報・避難勧告・避難指示の話
- * 家庭内の安全・火災の話
- * 防災・減災に関する話
- * 自助・近助・共助・公助の話
- * 災害ボランティアの話
- * アンケートを題材にしてフリートーク
- * 小学校での防災教室 ➡ 1校時と2校時では内容が変わります
- * 防災教室による家庭での話し合いの作文コンクール
- ※ 使用する材料の新聞紙 (見開き2枚)・レジ袋・ゴミ袋・ハサミ・オイルランプの瓶等は主催者で用意を、その他主催者による訓練要望、時間等は相談できます。
- ※ 千葉災害ボランティア連絡会

住所 千葉市若葉区桜木 4-3-1-206 ☎ 043-235-7655

☎ 090-4420-7389

小学生の保護者ご家族の皆様

千葉県災害ボランティア連絡会
会長 澤口 重郎

もしもに備えた防災体験会開催について (第4回)

入梅の候、皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、30年以内に6弱以上の地震が来る確立は、千葉市は日本全国で一番高い85%だと発表されています、先人達は「備えあれば憂いなし」と申されている通り、普段からこのような事に心がけていることこそが大切なことだと思います、そこでこの度、下記の内容でお子様と一緒に「1泊2日の予定」で(初日だけの参加でも結構です)その体験会を開催したいと思いますのでご案内申し上げます。

なお、今年度は体育館で行いますので、避難所の体験もできると思いますので、ご家族での参加をお待ちしています。

記

1、日時 令和元年7月25日(木)午後4時～翌26日(金)午前10時まで。

尚、25日だけの参加でもOKです。

2、場所 千葉市立千城小学校体育館。

3、内容

- 25日
- ・ブルーシートで三角テントを作る事を体験、非常時の仮住まいになります。
 - ・ロープワーク、新聞紙でのスリッパ作り。
 - ・夕食…今年は備蓄食品アルファ一化米の試食をおこないます。
 - ・今日の反省会をして10時就寝。

- 26日
- ・朝6時起床、洗顔後。 ・6時30分～ラジオ体操(第1だけ)。
 - ・朝食の準備をして朝食(非常食アルファ一化米体験)。
 - ・10時 身のまわりの整理後解散。

4、参加費 1名 500円 (参加費内訳 ・行事保険 241円、・食材費他 259円)。

参加費は申し込みのときお願いします。

5、参加申し込み 令和元年7月8日までに、各学級担任までお願いします。

※ 新聞紙見開き判2枚(スリッパ作りに使用します) ・ハサミ(ゴミ袋でポンチョ、頭巾作りに使用)持参。

※ 朝方結構寒くなりましたのでそれなりの準備をお願いします。

※ 澤口重郎の連絡先 → Ⅸ [REDACTED] 携帯 090-4420-7389 。

切り取り線

もしもに備えた体験会・参加申し込み書

* 児童氏名 学年 年生、男 名・女 名。
参加日 25日のみ ・2日間

* 保護者氏名 年齢 歳、男 名・女 名。
参加日 25日のみ ・2日間

・保護者の年齢は保険申請に必要なためご了承ください。

もしもの為の体験会

令和元年7月25日～26日

25日(木)

- 3時30分 受付。
- 4時 開会セレモニー。
- 4時20分 新聞紙でのスリッパ作り、ロープワーク、三角テント。
5時ごろから係りは夕食の準備・・・お湯を沸かす、レトルトカレーをボイル。
- 6時 夕食・・・非常食(アルファ化米)の体験 → いただきます。
アルファ化米は「若葉区地域振興課安全あんしん室」から協力を頂きました。
- 7時 災害のときのお話し。
- 7時30分 お楽しみ会。
- 10時 消灯就寝・・・おやすみなさい。

26日(金) 係員は起床後朝食の準備のため湯を沸かす。

- 6時 起床・・・おはようございます。
寝具の片付け・・・はみがき洗顔。
- 6時30分 ラジオ体操。
- 7時 朝食。
- 8時30分 ポンチョ・頭巾づくり、レジ袋の応用。【時間が取れればレジ袋の応用】
- 9時30分 全ての後片付け、掃除。
- 10時 解散。

準備する物 (必ず事前にチェックすること) ⇨ 澤口が準備確認のこと

※ アルファ化米(80)、クラッカー(50)、レトルトのカレールー(甘口・中辛 40) 福神漬け、ごま塩、トレー(50)、スプーン(100)、紙コップ(80)、割り箸若干、ハッポースチロールの箱大1個、ボール大中小、ザル大2個、トング大小、ポリ袋(100枚) → ポンチョ作りに使用、冷水タンク、水用タンク、バケツ、セロファンテープ・糸(糸電話の実験)、千枚通し、45ℓの袋(ポンチョ作りに使用・80枚)、石油バーナ、卓上コンロ及びガスボンベ、ヤカン10ℓ他1個、寸胴大、アルミ鍋大、ゴミ袋45ℓ3枚、中性洗剤、スポンジ、マジックインク、蚊取り線香、新聞紙、レジ袋。

※ 三角テント用一式、ブルーシート、ロープワーク用一式、消火器。

活動支援状況 (設立から現在まで)

***町内自治会関係**

- ・若葉区ほうじろ自治会
- ・ “ 若松町親和自治会
- ・ “ 高品ハイツ自治会
- ・稲毛区宮園自治会 (自主防災会)
- ・
- ・
- ・若葉区桜木中央自治会
- ・ “ 若松町東部自治会
- ・ “ 都賀の台自治会

***避難所運営委員会関係**

- ・千城台高等学校避難所運営委員会
- ・千城台南中学校避難所運営委員会
- ・白井公民館避難所運営委員会
- ・都小学校避難所運営委員会
- ・みつわ台北小学校避難所運営委員会
- ・県立桜が丘特別支援学校避難所運営委員会

***学校関係**

- ・源 小学校 → 防災教室
- ・千城小学校 → 防災教室、作文コンクール
- ・坂月小学校 → 防災教室、作文コンクール
- ・更科小学校 → 防災教室、作文コンクール
- ・桜木小学校 → 防災教室、作文コンクール
- ・加曾利中学校 → 避難訓練講評、講話
- ・県立千葉大宮高等学校 → 避難訓練講評、講話

***団体等**

- ・若葉区赤十字奉仕団
- ・わかば街づくり研究会 → みつわ台
- ・花見川区こてはし防災を考える会 (女性グループ)
- ・花見川区 第206地区民生委員・児童委員協議会研修会
- ・若葉区防災アドバイザーフォローアップセミナー (若葉区地域振興課主催) 全面支援

***災害支援**

- ・東日本大震災 (旭市飯岡ボランティアセンター立ち上げ、県庁ロビーで支援物資の仕分け、宮城県名取市ボランティアセンター支援) 澤口重郎対応
- ・令和元年台風 15, 19号、10月25日大雨に延べ21日間で49名の支援